

烈火武者頑駄無

データ

データ	
読み	れっかむしゃがんだむ
所属	頑駄無軍団光の七人衆リーダー
デザイン機体	武者頑駄無（SD戦国伝 武者七人衆編）
作品	SDガンダムフォース絵巻 武者烈伝武化舞可編武者烈伝・零

内容

かつて世界を魔の手から守った頑駄無軍団が誇る光の七人衆リーダーで少年武者烈丸の父親。若くして頑駄無流免許皆伝を受けた頑駄無軍団きっての武士だが言葉使いや素行は少々問題アリ、

猪突猛進の熱血漢だが義を重んじる仲間思いの有言実行派なので軍団内での信頼も非常に厚く、日頃の素行に隠れがちだが知性派の一面も持っている。乗り物に弱いのが玉にキズだが敵味方問わず名だたる名士を友に持ち、特に剣豪武将連飛威とは軍団を超えた強い友情で結ばれている。

武神將軍殺駆頭を殺した者の息子として殺駆三兄弟に追われていた頑駄無斎の子息、光凰を救い、

以後、時隠の謎を解く為に光凰と共に悪無覇域夢山に向かう。途中、国境の璃阿峠で連飛威と交戦。

地下水脈を通り、悪無覇域夢山を目指すとその時の戦いで頭部を負傷。突如、現れた殺駆頭によって

一命を救われた。最終決戦では光凰や光の七人衆、殺駆頭、連飛威と共に八紘の陣の一端を担い、

新烈火武者頑駄無に変化して闇魔神吏偶遮光と戦った。戦後は光凰と祝言を上げ、烈丸の父になる。

後の邪悪武者軍団侵攻時には将頑駄無殺駆頭から邪悪武者撃滅を命じられ、先頭に立ち奮戦するが

最終局面の際に作戦が読まれ、総崩れになった局面を打開するために武化舞可の使用を決める。その際、武化舞可使用時の巨大な爆発に巻き込まれ、永らく生死不明になっていたが一時的に復活、

邪悪武者軍団の陣所を壊滅させ、烈丸と柄の間の再会を果たした後、力を使い果たし、再び実体を失い、

消滅したが宇宙を漂う大鋼が天界に昇る頑駄無の頑魂を受け止め、大鋼と共に再び天宮に舞い戻った。

その後、武化舞可の完全発動により完全復活。烈丸と真の再会を果たす。漫画版では最終決戦時に

闇を封じる為、烈火頑駄無大將軍となり、光と共に消えてしまったがコミックワールドで消えたのは

武化舞可の鎧だけで頑駄無自身は無事生存。因みに先代大將軍である雷凰頑駄無大將軍とは義兄弟で

「烈火武者」の称号は大將軍が烈火刀の名からつけた物。

使用武器 & 支援メカ

烈火刀【れっかとう】

烈火武者の称号の元にもなった烈火武者頑駄無の愛刀。

閃攻の薙刀【せんこうのなぎなた】

烈火武者頑駄無が持っている細身の薙刀。

新タネガシマ【しんたねがしま】

剛熱機械師駄舞留精太が烈火武者頑駄無の為に文献を元に作り上げた専用銃。

武化舞可の號刀【ぶかぶかのごうとう】

光の七人衆と共に戦った大將軍が纏っていたとてつもない力を秘めた伝説の鎧の一つで號刀が認めた者しか抜く事が出来ないと言う烈火武者頑駄無が烈丸に遺した武化舞可の一つ。当初は真の力を引き出せるのは烈火武者頑駄無だけだったが後に烈丸も抜けるようになった。元々は雷凰頑駄無大將軍の「光の鎧」だったが魔界大戦後に将頑駄無殺驅頭が七つに分割、大將軍の意思と共に光の七人衆に託した。

紅蓮の鎧【ぐれんのよろい】

頑強な強度を誇りながらも軽量で、どんな戦術にも対応する烈火武者頑駄無の鎧。

使用忍術 & 必殺技

烈火霸斬【れっかはざん】

烈火武者頑駄無が放つ頑駄無流の必殺技、現状では詳細不明。

烈火爆炎斬【れっかばくえんざん】

烈火武者頑駄無が放つ頑駄無流の必殺技、現状では詳細不明。

烈火獄炎斬【れっかごくえんざん】

烈火刀の刀身が炎に包まれ、刀身からこぼれた火種で敵を炎に包み込み、上空にジャンプしてそのまま敵を上段から切り裂く烈火武者頑駄無の必殺技。漫画版ではこれで邪悪武者軍団四神将の一人、邪覇呼を撃破している。魔殺驅の必殺技である黒刃獄炎斬と名称が妙に似ているが多分偶然。

號刀烈火爆凰覇【ごうとうれっかばくおうは】

一振りでも周囲を炎に包む程の威力がある號刀を使った烈火武者頑駄無の必殺技、武者ヶ原での戦いで邪悪武者軍団の大軍と移動要塞・裏死邸阿に対し使用した。コミックワールド版と漫画版では型が違い、漫画ではどう見ても抜刀術だった。

八紘の陣【はっこうのじん】

烈伝・零十一話で七人衆 + 殺驅頭、漣飛威で使用した烈火と光凰を中心に集まる武者戦陣、「鳳天雷地風火水凰」のカオスワーズによって光の力を降ろし、光凰が大將軍化した。因みにこの時、烈火武者頑駄無は光凰と共に陣の中央に位置していた。

変形 & 変幻

武者婚礼装束【むしゃこんれいしょうぞく】

頑駄無が光凰と祝言を上げた際の装束で鎧の各部に飾り用の紐（水引？）を付けた姿。頭部にはつけマゲも付いている。光の七人衆編最終話に一カットのみ登場した。

烈丸七五三用衣装【れつまるしちごさんよういしょう】

頑駄無が烈丸の七五三を祝って悪無覇域夢山近くに行った際の装束で軽装姿に草摺り等を付けた姿。

M S 戦国伝の武者頑駄無をモチーフにした鎧姿で光の七人衆編最終話に数カットのみ登場した。

天装招来形態【てんそうしょうらいけいたい】

闇との戦いにおいて真の力を発揮する為の神装形態（要は明鏡止水モード）で

光の力を極限まで高め、闇の邪気を払い対等に戦う為の結界を発生させる効果がある。

外見も左右の肩に鳳凰を模した徽章が付き、白と金、黒をメインにしたカラーに変化している。

備考

烈火武者頑駄無の元になったのは武者シリーズの火付け役にして最初の武者である武者頑駄無である。

その為、デザイン面や武装面の多くは旧七人衆編の初代武者頑駄無をかなり踏襲している。

古くからの戦国伝ファン、S Dファンのツボを突きまくりな、今一番熱いキャラクターでもある。

改造で旧七人衆風味とか信玄リメイクV e r とかを企んでいるのは自分だけではないだろう。

通常版、負傷版、天装招来形態、新烈火、新烈火・烈怒の陣、新烈火・爆凰の陣、烈火頑駄無大將軍

（通常版& H J 作例版）真・烈火頑駄無大將軍、婚礼装束、七五三と現状で計十一種のバージョンがあり、

武者烈伝シリーズの超絶衣装持ちさんでもある。因みに七人衆の年齢は駄舞留精太と斎胡以外の面々が

二十代前半、殺駆頭が壮年、光凰は十五、六才（零の時代で）と言う事は判明している。

なお、烈火武者頑駄無のキットにはかつての武者頑駄無・月光のような特別バージョンとして

H J の烈伝・零スペシャルメッキバージョンとK フェスの江来須斗羅鋼仕様が存在している。

デザインは今西画伯、プラモ開発画稿は寺島氏が担当した。

参考資料

B B 戦士 2 6 7 烈火武者頑駄無説明書&コミックワールド

講談社刊 S Dガンダムフォース絵巻 武者烈伝武化舞可編（全3巻）

講談社刊 コミックボンボン04年6月号～05年11月号

ホビージャパン刊 ホビージャパン04年9月号

ホビージャパン刊 ホビージャパン04年10月号

ホビージャパン刊 ホビージャパン05年3月号

ホビージャパン刊 ホビージャパン05年4月号

ホビージャパン刊 ホビージャパン05年5月号

ホビージャパン刊 ホビージャパン05年6月号

ホビージャパン刊 ホビージャパン05年7月号

ホビージャパン刊 ホビージャパン05年9月号

ホビージャパン刊 ホビージャパン05年12月号

ホビージャパン刊 ホビージャパン06年1月号